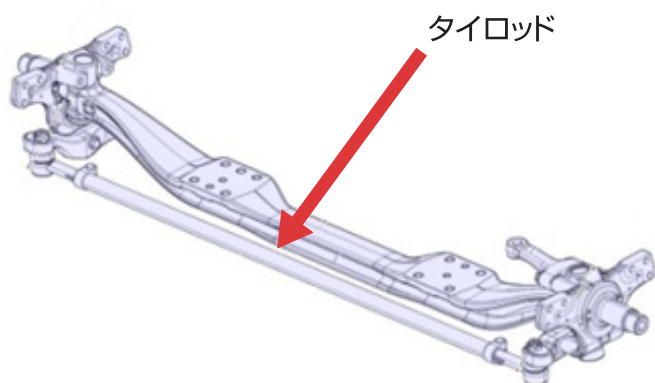


## 2017年式クオン ステアリングリンケージ

2017年式クオンで使用しているステアリングリンケージ（タイロッド）において整備点検時、以下注意してください。

### ■タイロッドエンド クランプボルトの締付

タイロッドエンドとチューブの固定は、以下クランプボルト締付で行っている為、トーイン調整やタイロッド点検で、本ボルトの脱着や締付状態の点検を行う際は、必ず規定トルクで締付されていることを確認してください。



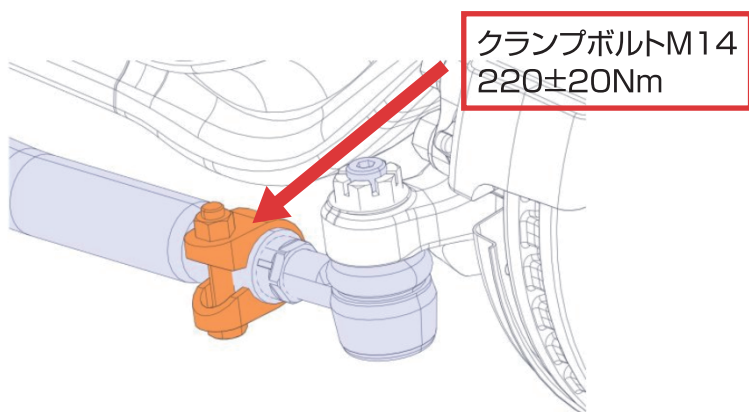
\*本クランプボルトの締付不足は、タイロッドエンド外れ、脱落に繋がるため、ご注意ください。

また前1軸目と2軸目でトーイン調整方法、クランプ締付が異なる為ご注意ください。

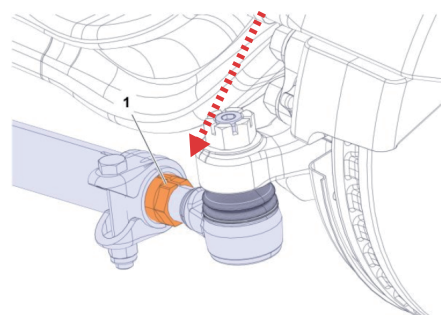
#### 前1軸目

タイロッド右側

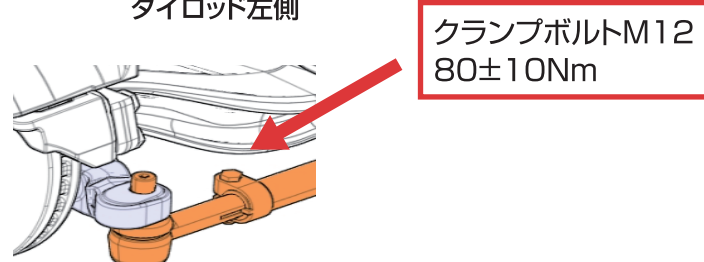
■トーイン調整はこちらで行う



こちらはタイロッドエンド  
出代調整用(トーイン調整用)

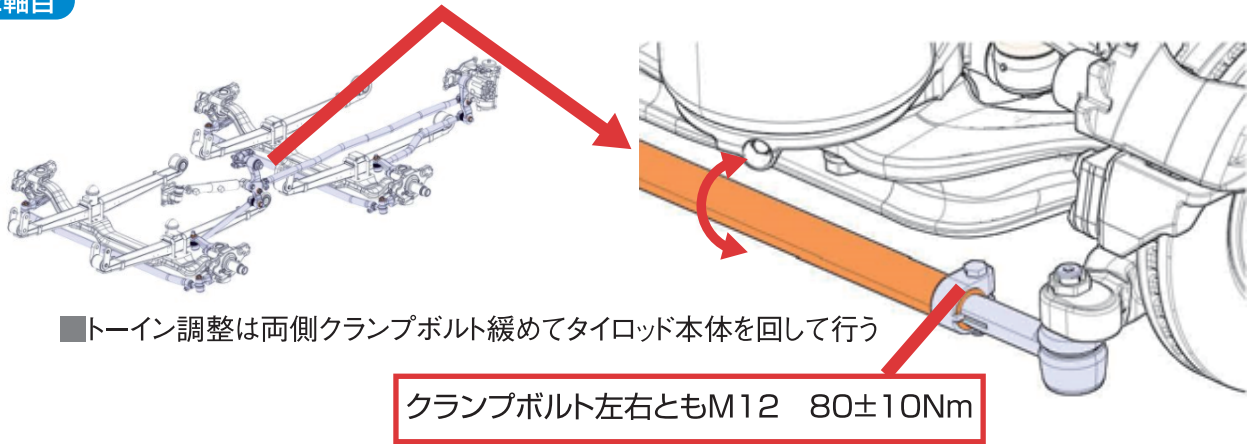


タイロッド左側



本クランプボルトが緩んで  
タイロッドエンドが抜けた事例

## 前2軸目



■トーイン調整は両側クランプボルト緩めてタイロッド本体を回して行う

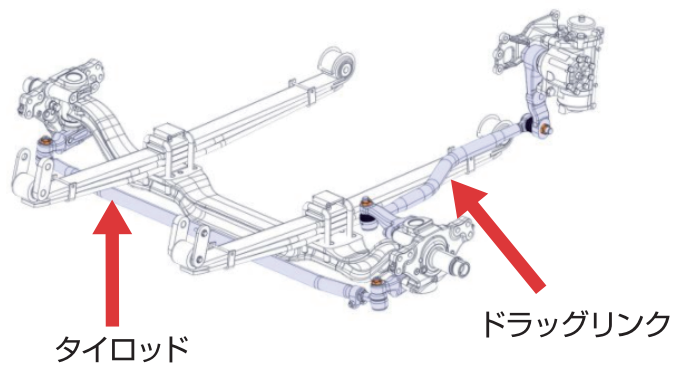
クランプボルト左右ともM12 80±10Nm

## ■タイロッド及びドラッグリンク ボールジョイントの遊び規定

2017年式クオンより、ボールジョイントの構造が変更になり、UD従前車と軸方向遊び判定の基準が変更されています。

### 対象部位

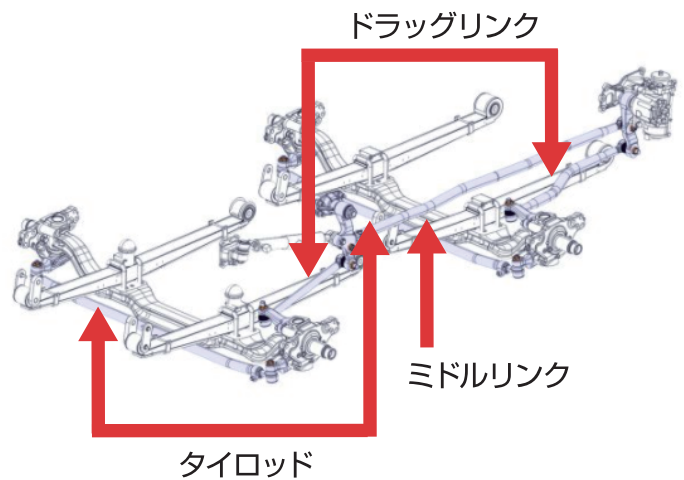
#### 前1軸車



タイロッド

ドラッグリンク

#### 前2軸車

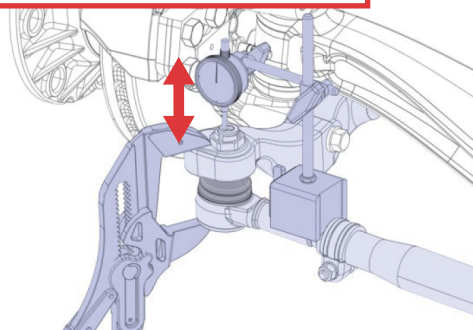


ドラッグリンク

ミドルリンク

タイロッド

遊び量基準 0-1mm以内



従前2014年式クオンまでは遊び0mmを基準としていましたが、2017年式クオンよりは構造変更しており、遊びを1mmまでは許容しております。但し前1軸フロントエアサス車のみ、襲来構造で遊び0mmになります。

### おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証の対象になりませんのでご注意ください。